

犯罪統計

1 犯罪統計（2016 年）に見る犯罪発生状況

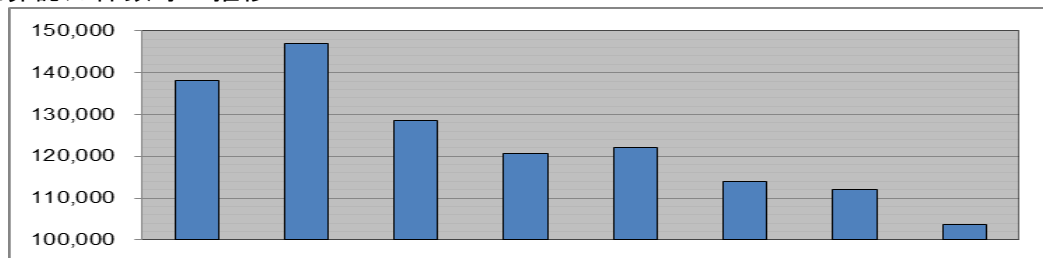
2016 年のブルガリアにおける犯罪発生状況等について、ブルガリア内務省の統計を我が国における犯罪発生状況と比較してまとめると以下のとおりです。

・ブルガリア人口 約 710 万人（我が国人口 約 1 億 2,700 万人）

	認知件数	10 万人当 たりのブルガ リア国内罪 種別犯罪率	前年比 (%)	10 万人当 たりの日本国 内罪種別犯 罪率 ※	対日本比較 (日本を 100 とした場合の 指数)
犯罪認知件数	103,773	1,450.6	-7.4	784.8	185
人	206	2.9	-22.6	0.7	408
強盗	1,678	23.5	-14.1	1.8	1,277
強姦	99	1.4	-1.0	0.8	178
強制わいせつ	232	3.2	-14.4	4.9	67
放火	1,493	20.9	-0.6	0.7	2,898
略取誘拐・人身売買	169	2.4	-1.7	0.2	1,315
窃盗	46,261	646.7	-15.2	569.7	114
(うち自動車盗・オートバイ盗)	3,192	44.6	-20.4	214.4	21
交通事故死者数	708	9.9	0.0	3.1	322

※ 警察白書及び警察庁ホームページのデータを元に計算

2 犯罪認知件数等の推移



年	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
犯罪認知件数(件)	138,105	147,025	128,602	120,558	122,080	114,004	112,037	103,773
邦人被害件数(件)	6	4	6	5	11	5	10	4

※ 2016 年中の邦人犯罪被害件数の罪種別内訳

窃盗 4（空巣 1，スリ 2，ひったくり 1）

3 ブルガリアの犯罪概要

犯罪認知件数は 2010 年を頂点として減少傾向にあり、2016 年も前年比で減少しています。邦人の被害件数は 4 件発生しており、前年比 6 件減少となっています。

2016 年の同人口当たりの発生件数を我が国と比較しますと、殺人が約 4.0 倍、強盗が約 12.7

倍、放火が約 29 倍、略取誘拐が約 13 倍などと桁違いに発生しており、日本と同じような感覚でいると大変危険であるといえます。

また、我が国において刑法犯の 7 から 8 割を占める窃盗の指数が我が国とほぼ同等となっていますが、ブルガリアにおいては軽微な窃盗被害の場合は警察に被害届を提出しないことが多く、スリや置き引き等が常態化していることを考えれば、実際の窃盗被害は統計よりかなり多く発生していると考えられますので特に注意が必要です。

(了)